

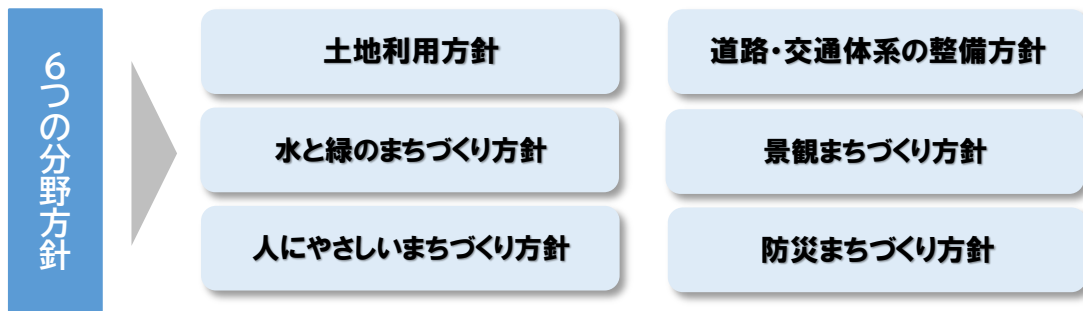
# 1. 都市計画マスタープランとは

市町村の都市計画に関する基本的な方針を市民の意見を聴きながら定めるものであり、概ね20年後のまちづくりのビジョン(方針)を明らかにするものです。

現行計画では、「夢を育む ホッとするまち 坂戸」を将来像に掲げ、6つの分野方針等から構成しています。

【現行計画の策定年、目標年次】

平成15年 (2005)		平成19年 (2007)	平成24年 (2012)		令和7年 (2025)
策定年次	⇒	中間見直し		⇒	目標年次

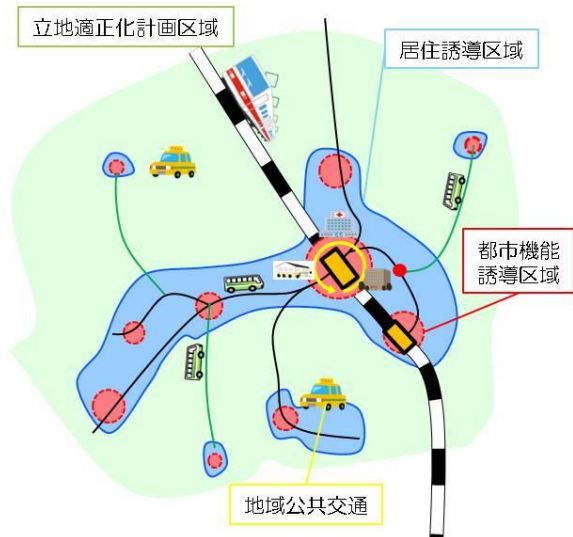


# 2. 立地適正化計画とは

人口減少や少子高齢化が進展している中、買い物や公共交通といった生活利便性の確保や地域コミュニティ等を維持するため、持続可能な都市構造への再構築、人口減少社会に対応したコンパクトシティを実現するために策定するものであり、都市計画マスタープランを具現化するための計画です。

坂戸市では、居住を促進する「居住誘導区域」や、医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能を誘導する「都市機能誘導区域」を定め、様々な施策を展開しています。

また、令和2(2020)年の法改正により、居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める「防災指針」の検討を進めていきます。



【現行計画の策定年、目標年次】

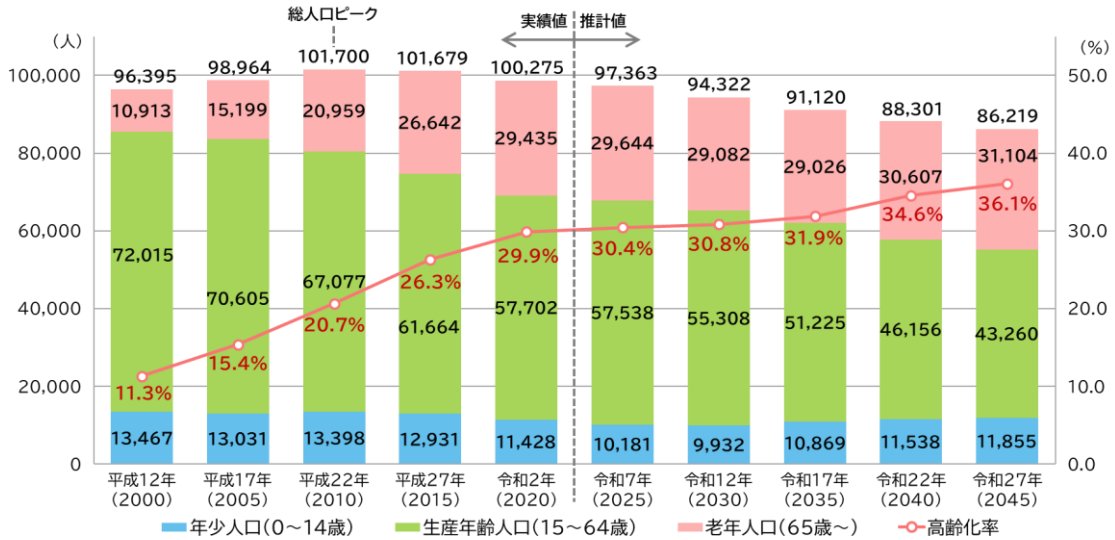
平成30年 (2018)		令和7年 (2025)		令和19年 (2037)	
策定年次	⇒	中間見直し		⇒	目標年次

### 3. 坂戸市の現況

#### (1) 人口動向について

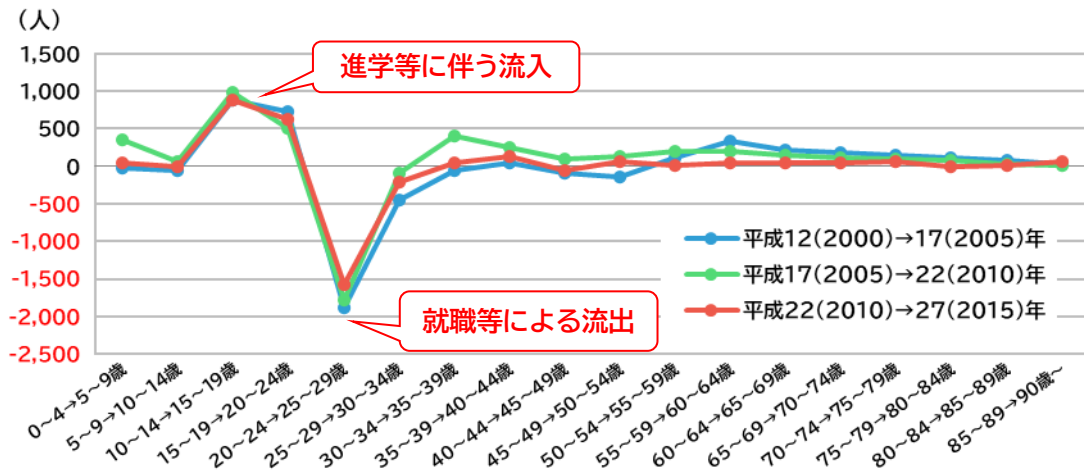
- ◆人口は、これまで概ね10万人前後を維持してきており、近年は微減傾向。
- ◆人口は将来的に減少する想定であり、概ね20年先では約1.2万人が減少の見込み。
- ◆市内及び近隣の大学立地により進学に伴う流入が見られる一方で、新社会人での就職等を契機とした流出が多い。

〈坂戸市の人口推移・将来見込み〉



出典: 令和2(2020)年までは国勢調査、令和7(2025)年以降は坂戸市人口ビジョンの展望人口

〈坂戸市の年齢5歳階級別純移動数の推移〉

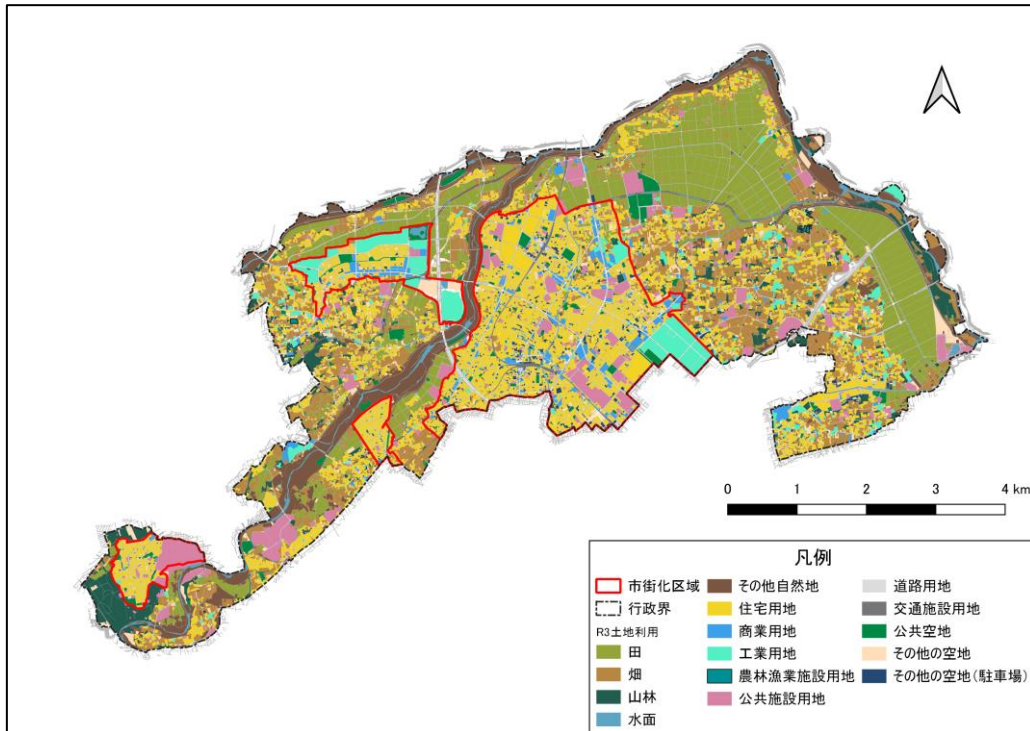


出典: 国勢調査

## (2) 土地利用について

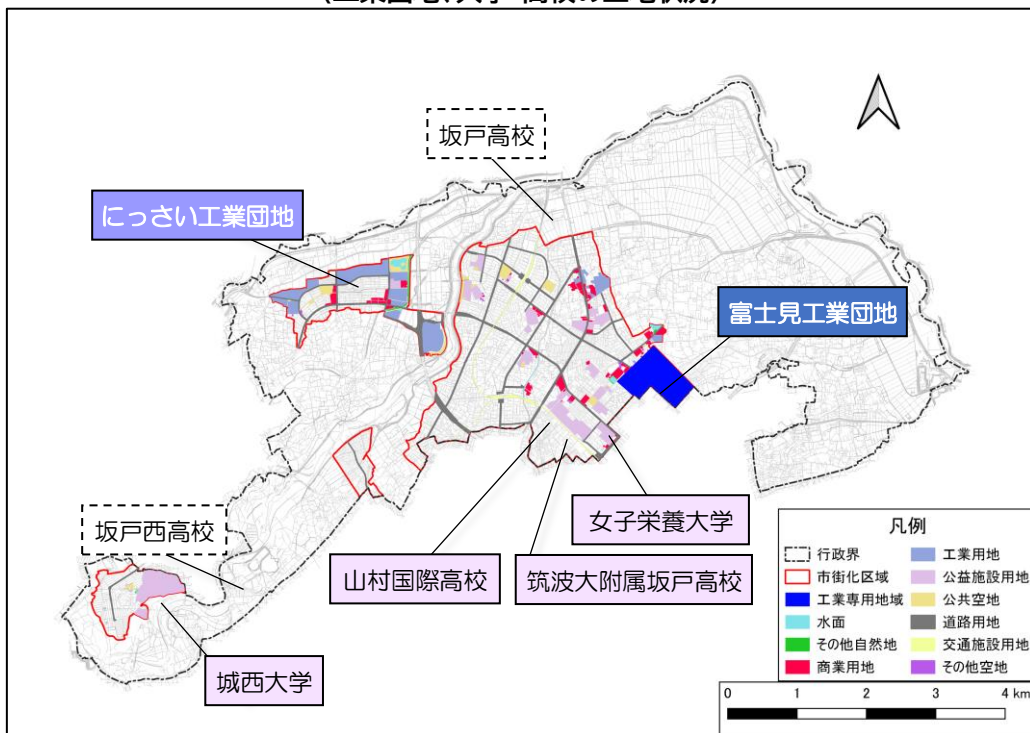
- ◆土地利用として最も多いのは**住宅用地** (22.1%)。
- ◆都市的土地利用（住宅、商業用地等）が51.9%、自然的土地利用（田、畑、山林等）が48.1%と**概ね同数**。
- ◆市内各地に工業団地（働く場所）や大学・高校（学ぶ場所）が多く立地している。

〈令和3(2021)年 土地利用現況図〉



出典: 令和3(2021)年都市計画基礎調査

〈工業団地、大学・高校の立地状況〉



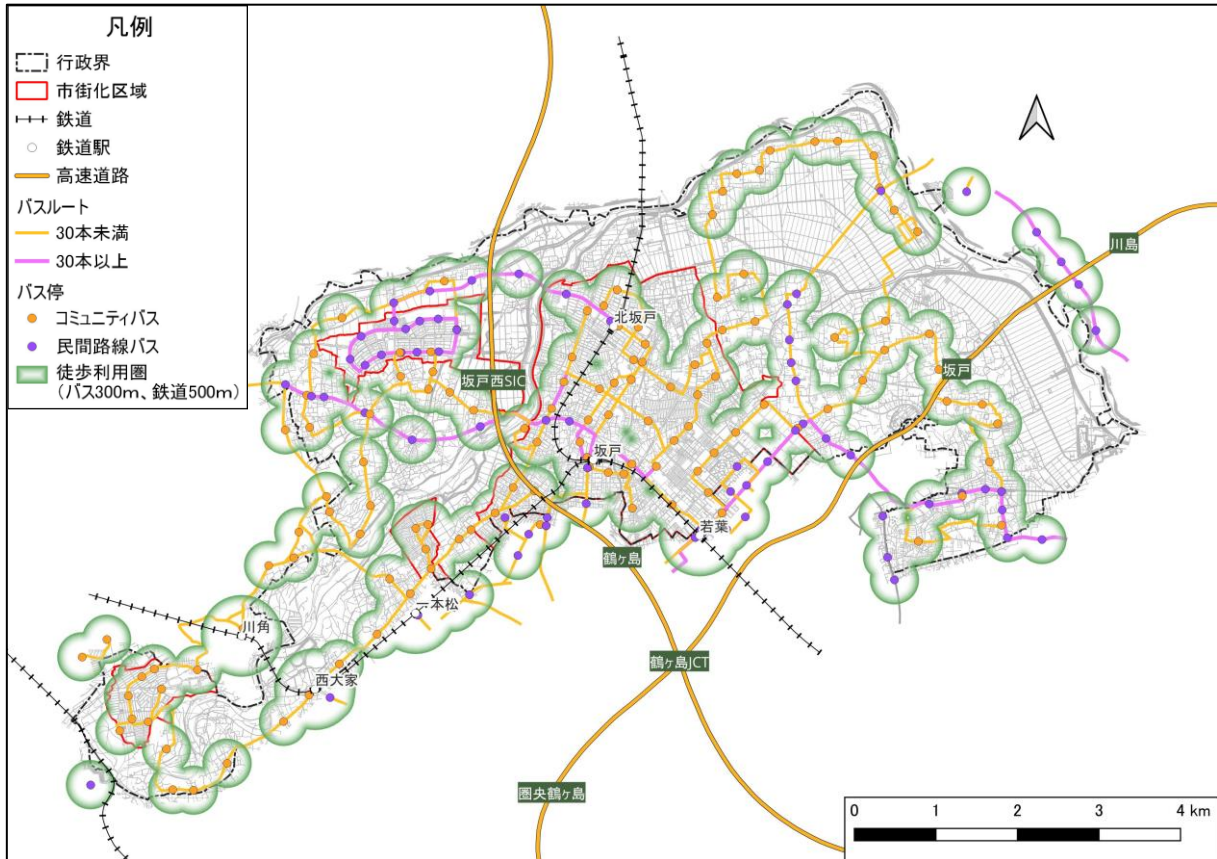
※坂戸高校、坂戸西高校は市街化調整区域に立地

出典: 令和3(2021)年都市計画基礎調査

### (3) 交通について

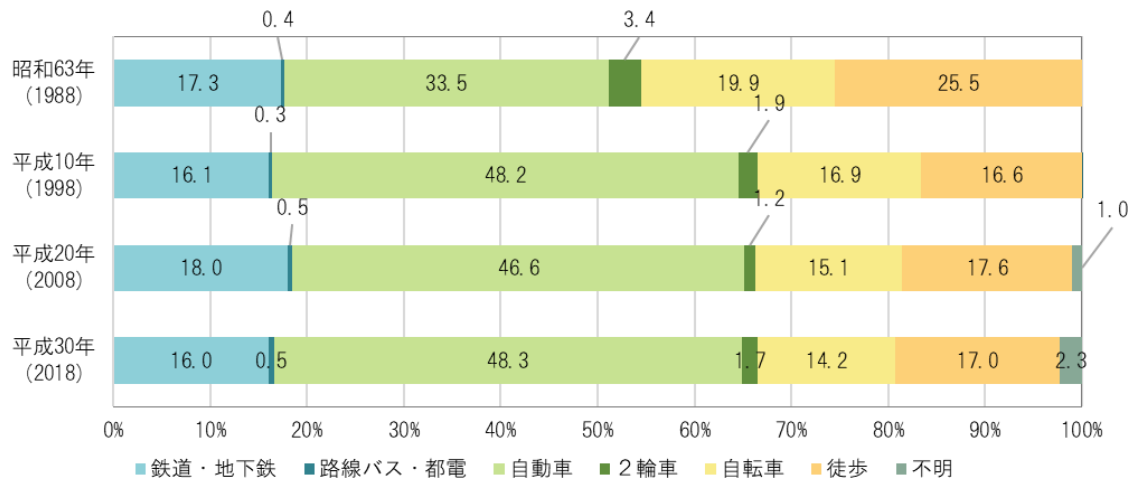
- ◆市内には首都圏中央連絡自動車道や関越自動車道、東武東上線や東武越生線が走っており、**広域を結ぶ道路・鉄道網が形成**。
- ◆市内を運行するバスは、民間路線バス（4路線）と市のコミュニティバス（9路線）が運行しており、**市街化区域内は概ね利用圏内**。
- ◆交通手段として、各調査年ともに**自動車**が最も多く、**増加傾向**となっている一方で、**自転車**や**徒歩**は**減少傾向**で推移。

〈鉄道・バス・高速道路網〉



出典：市提供資料

〈交通手段分担率〉

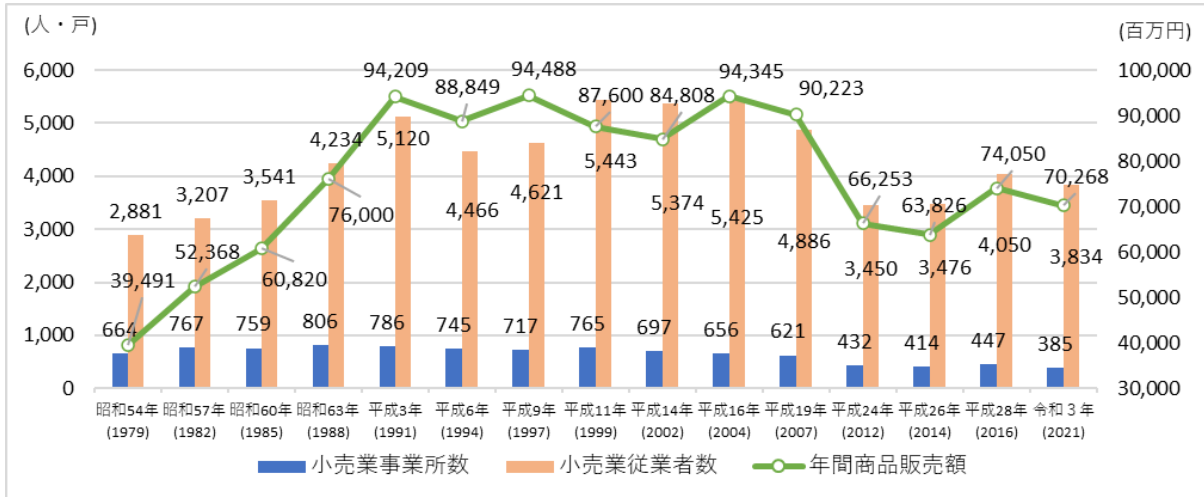


出典：第3回、第4回、第5回、第6回パーソントリップ調査

## (4) 産業（商・工・農）について

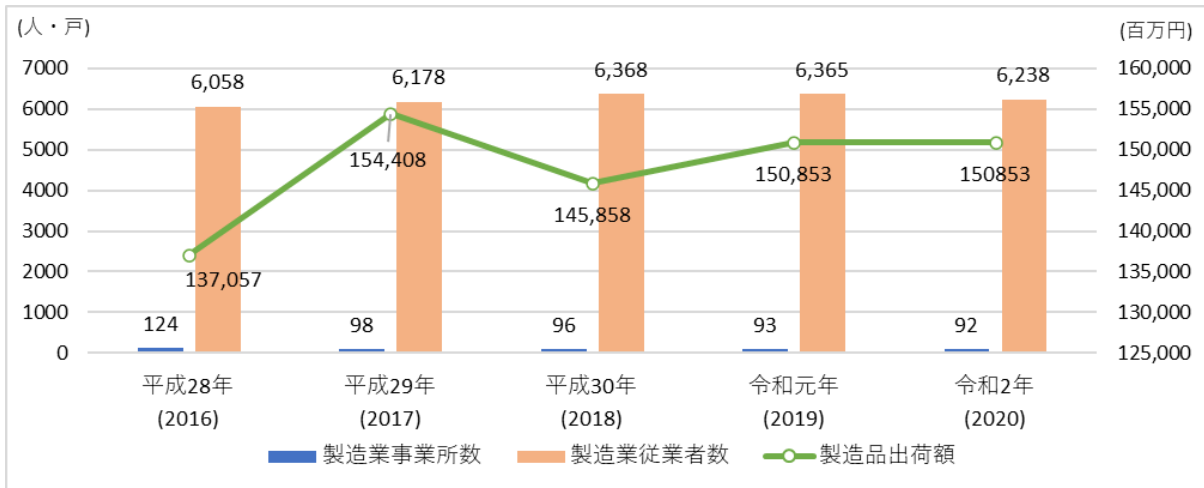
- ◆商業について、小売業の令和3年（2021）年までの近年の推移では、**事業所数・従業者数・年間商品販売額ともに減少傾向**（平成11（1999）年：765店舗→令和3（2021）年：385店舗（380店舗減））。
- ◆製造業については、工業団地等の開発により、**優良企業が数多く立地し、継続的な雇用も創出**。
- ◆農業については、**農家戸数、耕地面積、農業生産額で減少傾向**。

〈小売業における事業所及び従業者数、製造品出荷額の推移〉



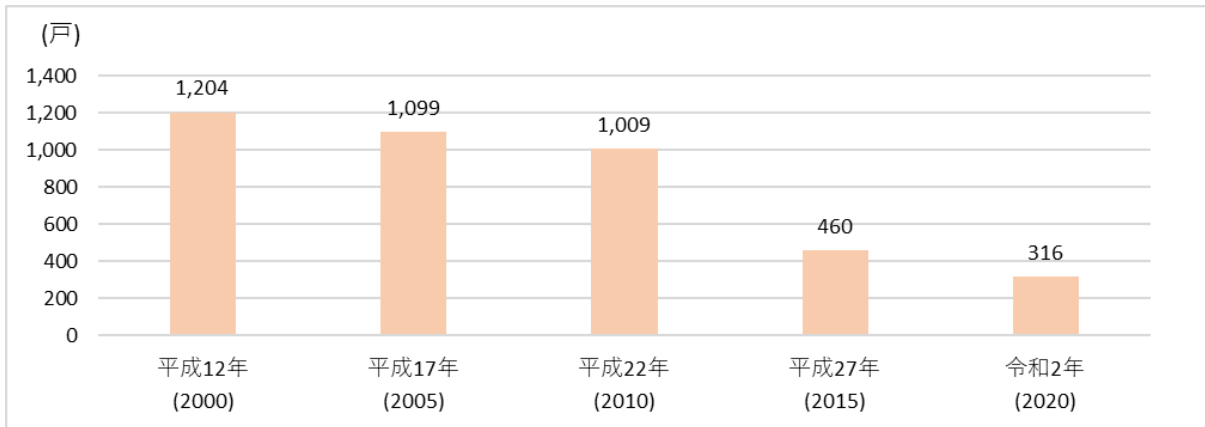
出典：商業統計調査、経済センサス活動調査

〈製造業における事業所及び従業者数、製造品出荷額の推移〉



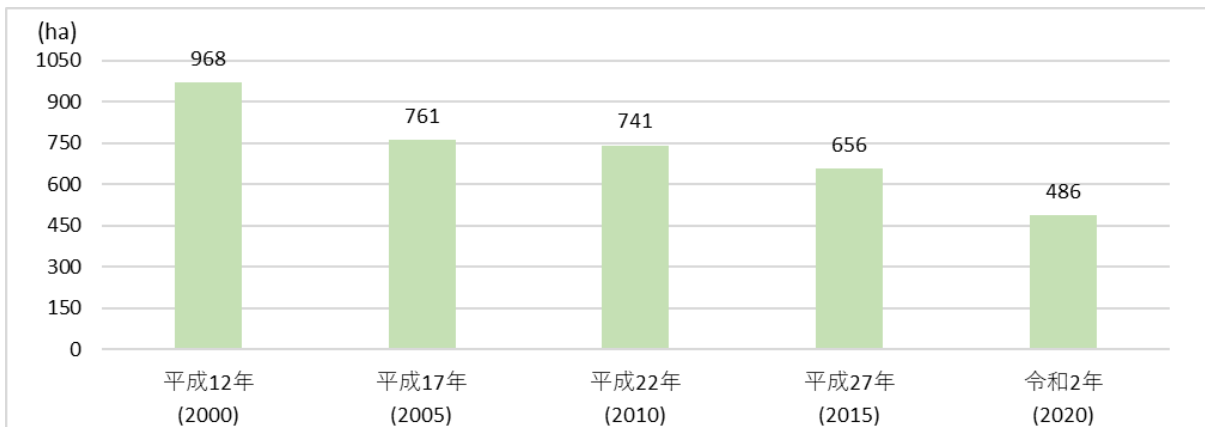
出典：商業統計調査、経済センサス活動調査

### 〈農家数の推移〉



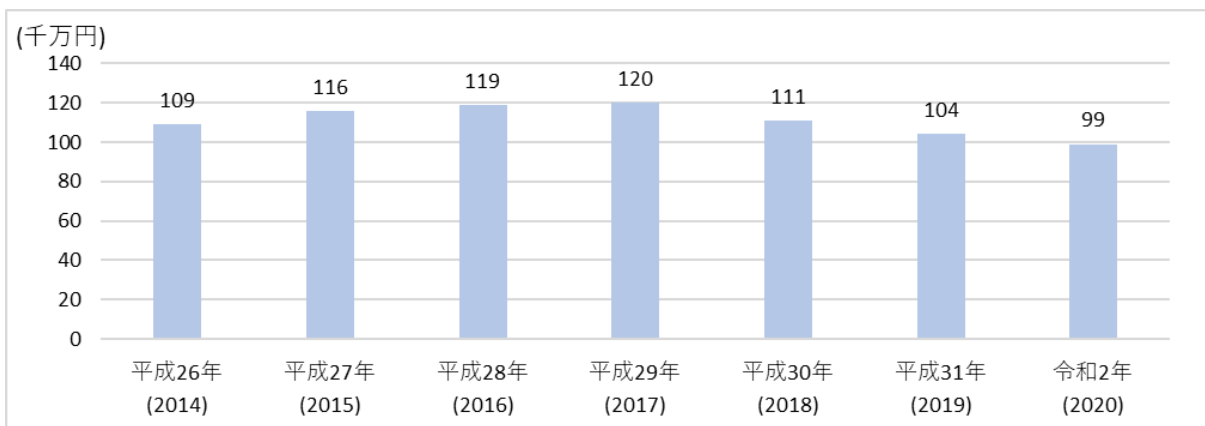
出典:H12(2000)~H27(2015)年農林業センサス、  
R2(2020)年統計坂戸

### 〈経営耕地面積の推移〉



出典:農林業センサス

### 〈農業産出額の推移〉

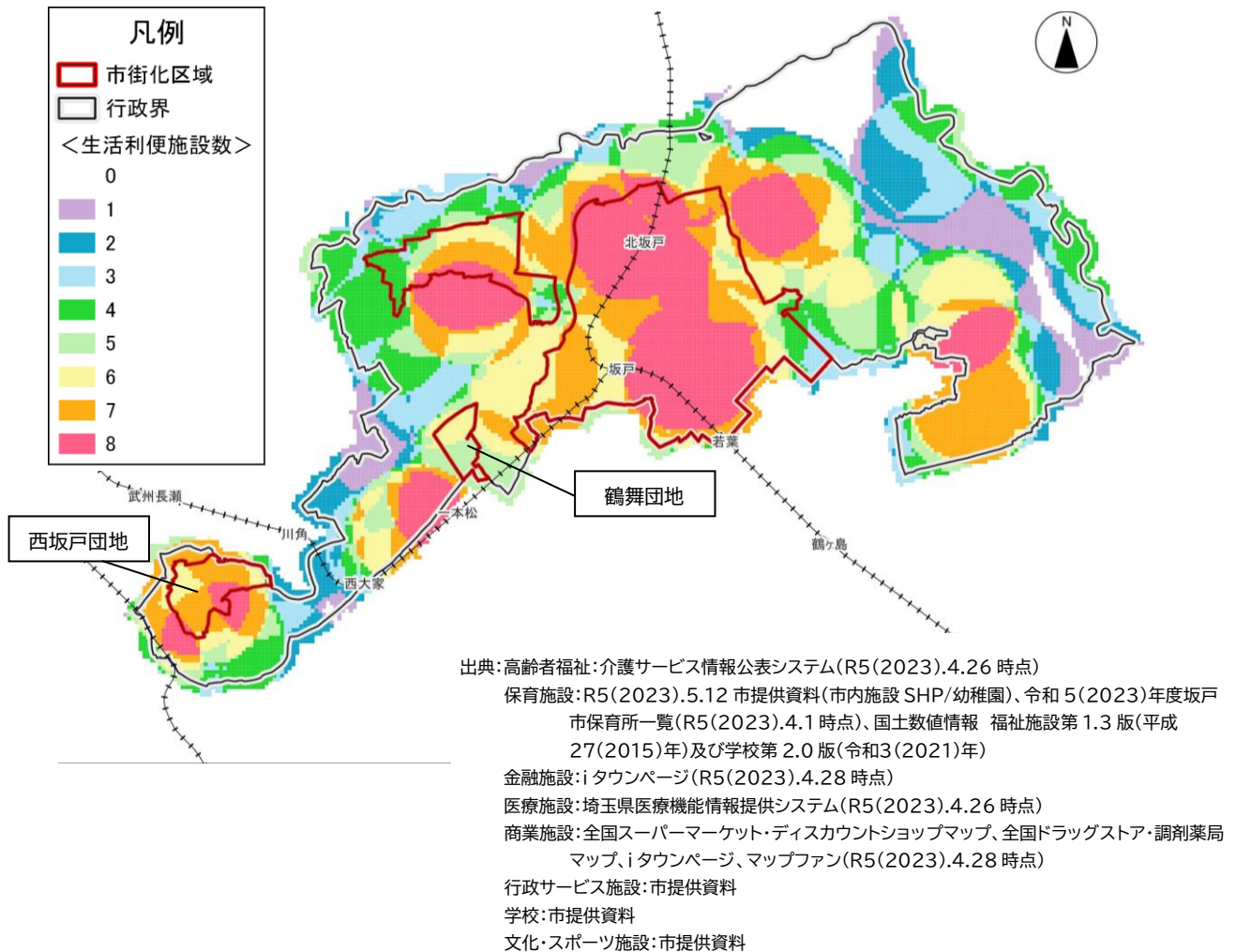


出典:生産農業所得統計

## (5) 鉄道駅をはじめとした拠点の状況について

- ◆本市の中心拠点である3駅周辺（坂戸駅・北坂戸駅・若葉駅）の各都市機能は概ね充足。
- ◆北坂戸駅では駅周辺の人口減少が顕著である中、溝端公園・旧北坂戸小学校において、民間活力の導入による多世代交流拠点の整備等の計画が進行中。
- ◆西坂戸団地や鶴舞団地では将来的に高い人口減少が見込まれるため、人口減少に伴う施設の撤退には注視が必要。

〈都市機能・施設集積状況(点数化)〉

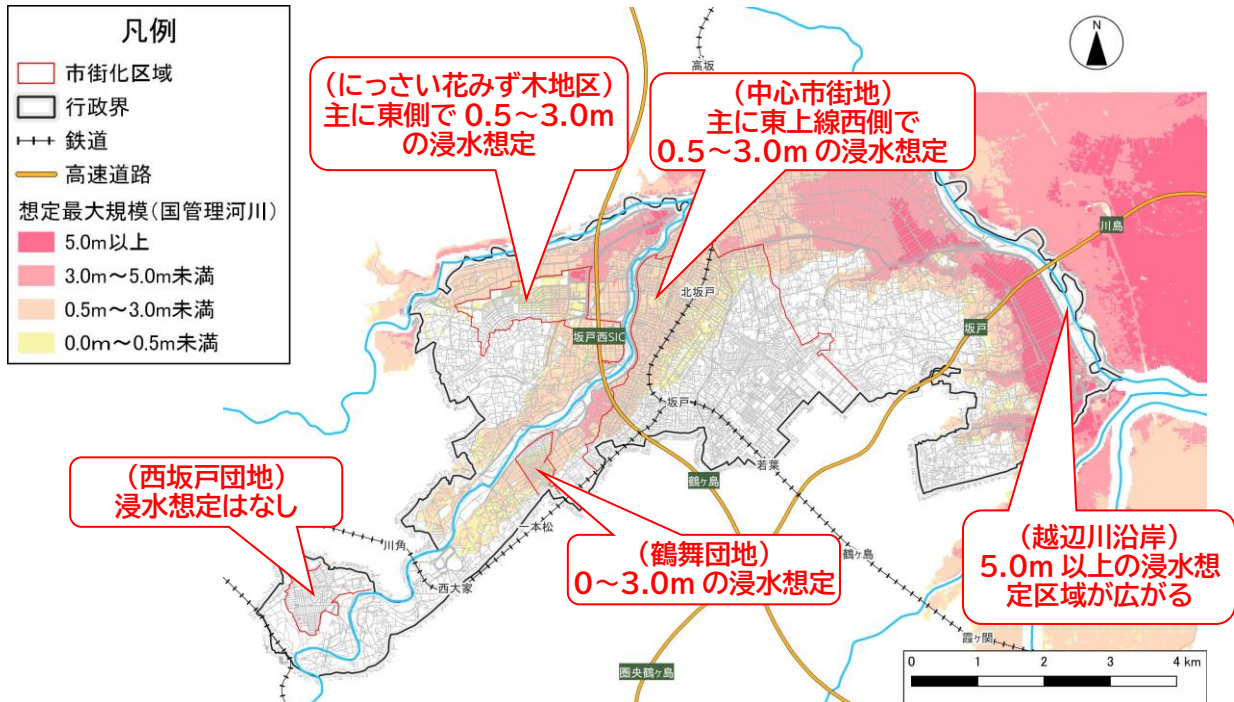


※都市機能施設の立地状況を(徒歩圏 800m)を 50mメッシュ毎に点数化し、都市機能等の集積状況を点数で示した図。対象施設の徒歩圏がメッシュにかかる場合に1点加算している。なお、市外に立地している施設の圏域に本市が含まれている場合も考慮している。

## (6) 災害について

- ◆市内には越辺川や高麗川等の洪水浸水想定区域が広範囲で広がり、**想定最大規模で5.0m以上の浸水深もあり。**
- ◆災害の防止を目標に、**入間川流域緊急治水対策プロジェクト**が進められ、坂戸市内では、河道掘削等とともに、**大規模な遊水地等の整備が予定**されている。
- ◆**土砂災害警戒・特別警戒区域は、市西部の2箇所**で指定。
- ◆地震の揺れやすさとして、**南西部に比べて北東部が揺れやすい**想定。

〈坂戸市の洪水浸水想定区域(想定最大規模)〉

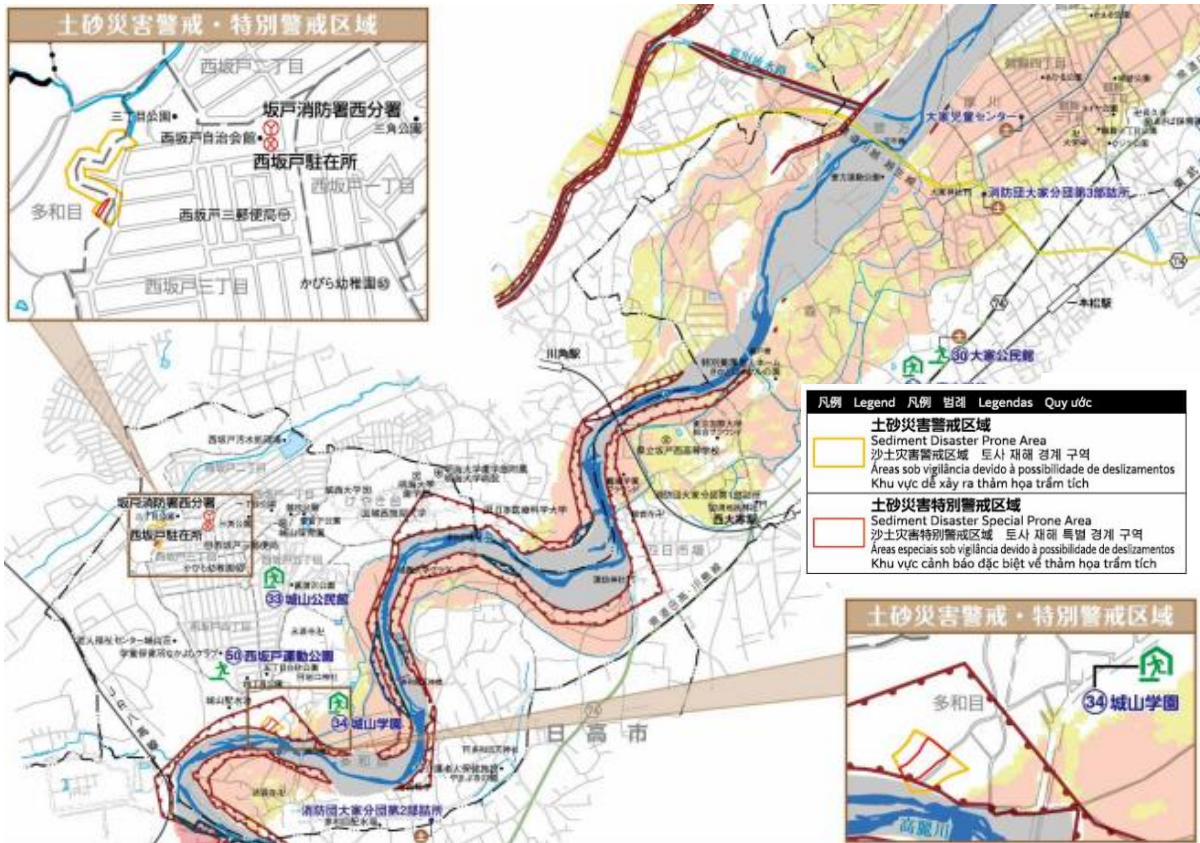


浸水深の想定と目安	
5.0m以上	2階の天井以上が つかる程度
3.0m～5.0m未満	1階の天井から2階の 天井近くまでつかる程度
0.5m～3.0m未満	1階の床から1階の 天井までつかる程度
0m～0.5m未満	1階の床までつかる程度
浸水が想定されていない区域	

出典：洪水浸水想定区域図(荒川上流河川事務所)

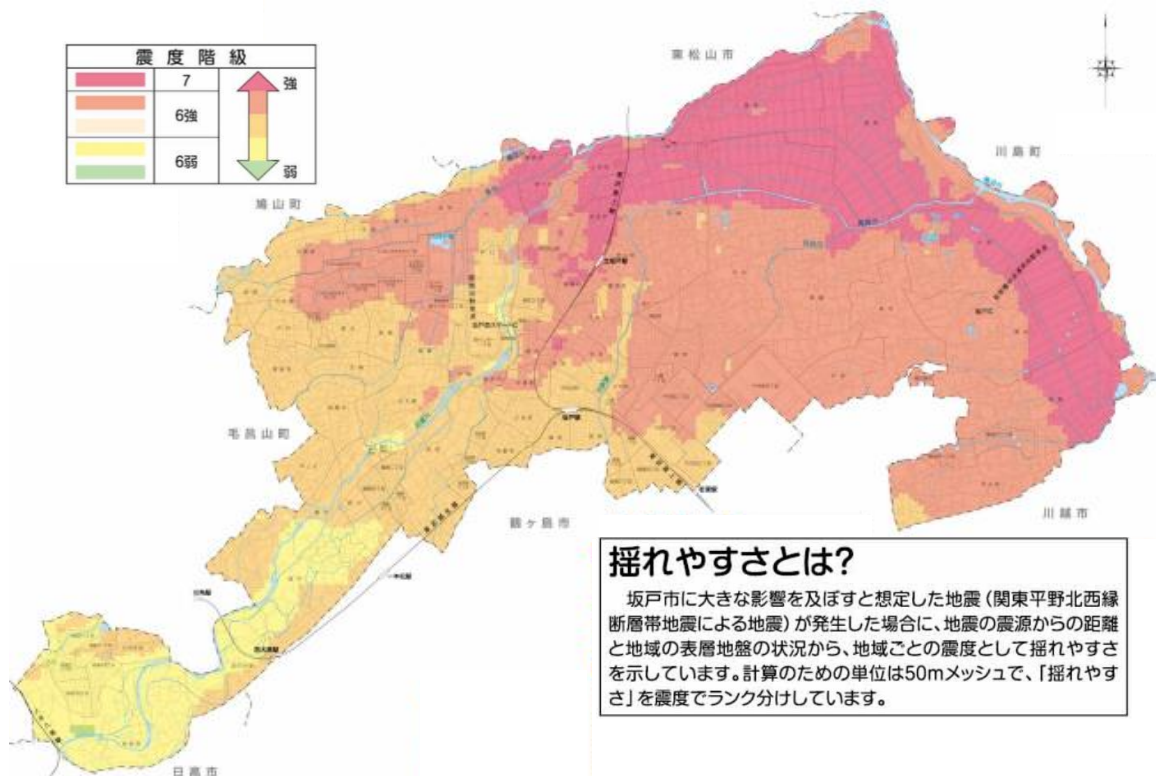


〈土砂災害警戒・特別警戒区域〉



出典:坂戸市防災ハザードマップ

〈地震ハザードマップ(揺れやすさ)〉



出典:坂戸市防災ハザードマップ

## (7) 策定までのスケジュールについて

